



「市民フレイルサポーターによるフレイルチェック」の モデル実施について

本市では、健康寿命の延伸に向けて、第7期介護保険事業計画の重点目標として「フレイル対策を含めた介護予防の推進」を掲げています。

このたび、新たに、市の総合福祉ゾーンである「しあわせの村」において、東京大学高齢社会総合研究機構飯島勝矢教授が考案された「市民フレイルサポーターによるフレイルチェック」を、モデル実施します。

1. モデル実施の概要

（1）「市民フレイルサポーター」養成研修

開催日時：平成30年10月16日（火曜）、10月17日（水曜）の2日間
両日とも13時30分から16時30分まで（予定）

開催場所：神戸市シルバーカレッジ 2階 学習室

内 容：フレイルチェック会を運営する「市民フレイルサポーター」を養成するため、東京大学飯島勝矢教授による座学研修（1日目）と先行都市（和歌山県紀の川市）のフレイルトレーナー（市民フレイルサポーターの指導助言役のリハビリ専門職）による実技研修（2日目）を行う。

（2）第1回「市民フレイルサポーターによるフレイルチェック会」

開催日時：平成30年11月21日（水曜）
13時30分から16時30分まで（予定）

開催場所：神戸市シルバーカレッジ 2階 学習室

内 容：10月に養成した「市民フレイルサポーター」によるフレイルチェックの実践。
東京大学飯島勝矢教授も参加。

2. 対象者等について

平成30年度はモデル実施のため、「市民フレイルサポーター」養成研修受講者及び、「フレイルチェック会」参加者の公募は行いません。